

白鳥首環標識調査報告

山階鳥類研究所

標識研究室

佐藤文男

尾崎清明

場所：青森県東津軽郡平内町小湊

期日：1977年2月12日，13日

今回の首環標識鳥種はすべてオオハクチョウであった。その放鳥数は12日に3羽、13日に8羽、計11羽である。標識№、性別、年齢は以下の通りであった。

鳥種	放鳥月日	首，足，カラーバンド№	金属足環№	性別	年齢
オオハクチョウ	12Feb	1C18 緑	環 140-01018	♀	Ad
"	"	1C19 "	" - " 19	"	Juv
"	"	1C20 "	" - " 20	♂	Ad
"	13Feb	1C21 "	" - " 21	"	"
"	"	1C22 "	" - " 22	♀	"
"	"	1C23 "	" - " 23	"	"
"	"	1C24 "	" - " 24	"	Juv
"	"	1C25 "	" - " 25	"	"
"	"	1C26 "	" - " 26	"	"
"	"	1C27 "	" - " 27	♂	Ad
"	"	1C28 "	" - " 28	♀	"

○ 標識装着については IWRB Swan Research Group Technical Note №1 and №4 の規則に従い、幼鳥の場合右足にカラーバンド、左足に金属バンドをつけ、成鳥はその反対にした、また首、足環カラーともに装着は下から上に読み上げるように（たとえば 1C18 は1を下にして装着する）標識した。

○ 捕獲方法

最初に予定した網による捕獲は悪天候のため中止。すべて手によって捕獲した。

○ 性別及び他の調査事項

雌雄の識別は総排泄腔を手によって開き、両性の生殖器を確認する方法をとった。雌雄を比較すると、開くときに雌は比較的楽に開口出来、これに反して雄は総排泄腔部の収縮が強く、かなりの力とコツを必要とする。今回の調査の場合では、雄は成鳥でしか確認出来なかったが生殖器（ペニス）の大きさは露出部で長さ約1.5cm程度であった。雌は今回の場合、ペニスが見られないことと、輸卵管口の発見はややむづかしく、すべての個体で確認する事は出来なかった。また幼鳥の場合は雄でペニスが小さく（まだ確認はしていないが）注意を要する。

幼鳥の盲囊（Bursa of Fabricius）は1個体で確認出来た。

寄生虫についてはオオハクチョウ11羽中、10羽までに総排泄腔部に内部寄生虫が確認された。また同時に捕獲したコハクチョウ（♀ Juv）にも認められた。外部寄生虫については調査しなかった。なお別紙に参考のため各部の測定値を記す。

Feb 16. 1977

オオハクチ ヨウ測定値 (最下段コハクチ ヨウ測定値)

首環 (クローン)	右足	左足	性別	年齢	B・W 体重	Wing 翼長	Tarsus 跗蹠 太さ	Cul 嘴峰	Gape 開口	その他
1C18	140-01018	1C18	♀	A	10.3 Kg	615 mm	116.0 24.8×11.5	104.5	96.3	寄生虫 成鳥羽
1C19	1C19	140-01019	♀	J	8.15	590	120.7 25.0×11.2	87.7	102.7	" 幼鳥羽
1C20	140-01020	1C20	♂	A	12.8	605	128.7 28.0×13.0	111.8	106.5	" 成鳥羽
1C21	140-01021	1C21	♂	A	10.65	620	124.8 26.4×12.3	109.8	103.2	なし "
1C22	140-01022	1C22	♀	A	10.6	595	122.5 25.8×11.9	113.5	105.1	寄生虫 "
1C23	140-01023	1C23	♀	A	10.0	570	115.7 25.9×13.1	102.2	96.2	" "
1C24	1C24	140-01024	♀	J	7.98	605	126.3 24.7×10.9	85.8	105.4	" 幼鳥羽
1C25	1C25	140-01025	♀	J	7.65	580	121.3 24.4×11.8	89.0	104.5	" "
1C26	1C26	140-01026	♀	J	9.6	580	125.0 24.6×11.0	89.0	101.1	" "
1C27	140-01027	1C27	♂	A	11.6	550	124.5 26.9×12.9	107.5	106.4	" 成鳥羽
1C28	140-01028	1C28	♀	A	10.3	615	115.5 24.9×12.1	112.4	99.7	" "
		コハクチ ヨウ	♀	J	5.0	485	106.2 21.9×9.3	78.2	87.1	" 幼鳥羽

1977. 2. 12. 13